

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年3月31日

事業所名 littleデジ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8			室内環境が明るく広く見えるよう窓から光を取り入れ、家具も安全に配慮した配置にしている。	
	2	職員の配置数は適切である	7	1		パート職員などは勤務体制を人数が必要な午後に固めるなどしている。	午後の送迎箇所が多い為、その時間のみ忙しくなるが、人員配置は適切である。また新規職員も採用できたので今後さらに改善していく見込みである。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8			エレベーターや手すりの設置をしている	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8			月に一度のミーティングは全員参加で、職員が意見しやすい雰囲気づくりを心掛けている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			頂いたアンケートで全員で共有し改善に向け話し合い改善を目指している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	1	1	定期的に事業所を訪問してもらっている専門家に、第三者委員を依頼し引き受けてもらった。	今後意見をもらい業務改善につなげていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8				
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8			県指定のえいぶるノートを活用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		3	ある程度は個々のアイデアにまかせ活動内容を立案している。	おもに中級職能以上の職員を中心にのプログラム立案を行い、それを伝えていくようにしているが、今後は職務会で幅広い意見をもらいながら検討していくようにする。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		1	個別支援では、色々な活動プログラムを考え実践し、個々のレベルに合わせた内容にしたり飽きがない様に工夫している。	全体での活動に工夫をしてみようと思う。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7		1	休日や長期休暇を利用して弁当を持参し戸外活動を行ったり、季節の行事も計画してきた。	今後は長期休暇を利用して必要な訓練系を行っていききたい。また、長時間可能になるので発展する活動もやっていきたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6		2	集団が苦手だったり、個別が苦手だったり、個々によるので本人の無理のない範囲からトライし苦手との向き合い方について支援している。	集団が苦手な子が多いので、集団活動を強化していきたい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		1		役割分担の確認は行っている。支援内容については当日の子どもの様子に応じて臨機応変に対応しているので今後は計画的に行う。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3		4	翌日に話し合うか、いち早く周知したい事項については全体の連絡網でやりとりしている。	支援の振り返り、きまった職員でやりがちなので全体で周知できるよう気を付ける。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			毎回必ず個別記録をとり、会議やモニタリングで活用している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8			毎月の職務会にてモニタリングの時間を設けているので遅延なく行っている。計画についても意見を話し合っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	7		1		ガイドラインについての理解が曖昧な職員もいるので、職員研修等で扱っていく。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	8				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	8			担当者会議の時期でなくても必 要に応じて会議を開催したり、支 援の先生以外でも校長、養護教 諭なども児童に関する情報共 有をこまめに行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	-				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	8				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	7	1		高校を卒業した児童がいたが、 その際支援内容等の情報を提供 した。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	5	2	1	発達障がい者支援センターから の研修は毎回積極的に受けてい る。	研修を受ける職員に偏りがあるので、初級クラスの 職員の職員も受けられるような研修があれば受けて もらうようにする。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	5	2	1	ほぼ毎日行く公園で、近くの学童 クラブや近所の同年代の児童と 自然な形で関わりながら遊ぶ機 会がある。	せっかくの機会なので、もっと顔見知りになり名前を 呼び合って遊ぶくらい関わりを広げていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	4	3	1		参加する方法を探っていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	8				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	5	2	1	事業所内相談や、お便りノートの 活用、午前中の電話相談などを 受け付けている。いつでも相談し やすい関係性作りにも努めてい る。	これまでは事業所内相談を希望者に定期的に行っ て日頃の育児に関する相談を受け助言等行ってい たが、今後はペアトレのプログラムも取り入れてみよ うと思う。
保護者への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	8				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行ってい る	8			保護者からの相談は、面談だけ でなく急な電話でも対応してい て、多くの方に好評頂いている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	8			保護者を招待し保護者会やクリ スマス発表会を実施し好評いた だいたので継続する	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	8				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	8			月に一度の事業所だよりは、ひ と月の活動内容を写真を多く載 せて紹介している。	
	35	個人情報に十分注意している	8			個人ファイルは鍵付き書庫で保 管、職員への誓約書や保護者に 写真掲載の同意書へサインもも らっている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	8			話すのが苦手な子へハンドサイ ンでやりとりしたり、特性のある 保護者への文面でのやりとりな ど、工夫している現状がある。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	3	3	2		近隣の事業者や自治会にハロウィン訪問を行ったの で、今後はお礼に招待する形をとってみたい。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8			マニュアル関係整備しまとめて全職員の目につくところに保管している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	1		対象児なし。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	1		母伝いで確認し、指示の通り対応している。	アレルギーが多く毎日弁当おやつを持参してもらっている児童がいるが、母と食べられるものをスマホの機能で共有し、誕生日などはみんなで同じものが食べられるよう配慮している。今後も継続していきたい
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			事例集を作成し事案についても毎月のミーティングで報告する機会を設けている	